

まきどき・植えどき・収穫どき  
**どきどき情報5月**

肥料特集～肥料のまき方について～

肥料のまき方には、全面に施肥する方法や畝だけに施肥する方法など様々な種類があります。それぞれにはメリット・デメリットがあり、どれが一番良いというものはありません。肥料の種類や作目によって使い分けるのが一番効果的といえます。

・全面施肥



畑全面に肥料を施してロータリーで攪拌し、全層に鋤きこむ方法です。基肥に用います。土壌の物理性やPHを改善する目的で堆肥や苦土石灰を施用する場合に有効です。また、カボチャ、ホウレンソウなどの浅根性の野菜は全面施肥が適しています。

メリット	デメリット
作業効率が良い	施用量が多くなる
水田では脱窒防止対策になる	一部は作物が吸収しきれず、肥料分が流亡する

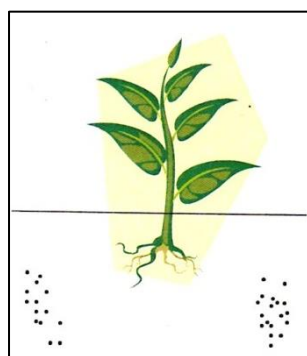
・畝内施肥



畝内だけに施肥する方法です。基肥として化成肥料を施用する場合に有効です。このとき、畝の面積に応じた肥料を施用することに注意します。株間を狭く植えるタマネギ、レタスなどはこの施肥法が有効です。

メリット	デメリット
コストが安く済む	全面施肥と比べて手間がかかる
環境負荷（肥料分の流亡）を低減できる	専用の機械を用いないと施肥精度が劣る

・局所施肥（作条施肥、側条施肥）



畝内施肥をさらに狭めて、畝に沿って株や根の近くに施肥する方法です。基肥や追肥として用います。初期生育が旺盛になるため、水稲では特に寒冷地で普及しています。根菜類の場合は株間に、トマトやナス、ハクサイ等の深根性の野菜は株の真下に施肥します。

メリット	デメリット
コストが安く済む	施用する場所や量によって根痛みを起こす場合がある
環境負荷（肥料分の流亡）を低減できる	畝内施肥よりもさらに手間がかかる
基肥として施用する場合、初期生育が旺盛になる	根菜類では施肥位置の真上に播種すると根が分岐してしまう

※上図は「土壌診断と作物生育改善」より引用  
（日本土壌協会）

したがって、コストや環境負荷まで考慮した効果的な施肥法としては、

①播種・定植 1~2 週間前に全面に堆肥 (+苦土石灰) を施用し、耕耘してよく混和する

②畦立てをして化成肥料による基肥を畦内施肥あるいは局所施肥によって行う

のが望ましいといえます。このとき、PH が酸性に傾いている場合は堆肥と同時に苦土石灰も施用しましょう。

### ○追肥について

追肥は野菜の生育に応じて行います。最初は株元に、2 回目以降は株から段々離れるように施すとよいでしょう。隣の株の葉と接するぐらいの生育になったら通路に肥料をばらまくくらいでも OK です。



### ○施肥量について

作物ごとの施肥量については、あさつゆの事務室の上部に JA の施肥基準が貼ってあるのでそちらを参考にしてください。下にアール (a) を  $m^2$  に直した計算法を示しますので、ご自身の畑の面積に応じて計算してみてください。

$$1a=100\text{ m}^2$$

したがって、1a あたり 20kg の肥料をまく場合は、1  $m^2$  あたり 0.2kg (200g) を施用する。

## ～普及員による農業相談 Q&A～



生産者  
関貞子さん

我が家では様々な作物を栽培しており、現在はニラを出荷しています。3年に1度植え替えをし、年4回の収穫をしています。ただ、茎が細いのが多くなってしまったのが悩みのタネです。どのようにしたら太いニラが作れるでしょうか？

ニラは品種によってグリーンベルトなど葉幅が広い「大葉品種群」と、在来ニラと呼ばれ、耐暑性に優れ、分けつが多い「小葉品種群」の2つのグループに分かれます。ニラが細くなる理由の一つは「小葉品種群」の品種であることが考えられます。

また、ニラは 25°C 以上の高温になると徒長し、葉が細くなります。したがって8月中旬くらいまではどうしても細くなってしまいう傾向にあります。

一方、収穫を繰り返す度に段々葉が細くなるとすれば株が弱っている証拠です。生育後半 (9月以降) になったら窒素成分で  $m^2$  あたり 5g (硫安なら 25g) を株の様子を見ながら何回か施用してください。収穫後は堆肥などの有機質肥料を十分に入れ、翌年の収穫に備えましょう。



岡崎普及員

### あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

### 技術事項作成協力

上小農業改良普及センター (近藤・岡崎)

電話番号：0268-25-7156 (直通) FAX：0268-23-2161

## 曲がったパイプの活用法！ ～あさつゆでも売っています！～

2月の大雪でパイプハウスが倒壊し、曲がったパイプをどう処分するか困っているという方もいらっしゃると思います。ただ業者に引き取ってもらうのももったいない…。そんな風に考えている方は以下のような方法で活用してみてもいかがでしょうか？



①曲がってしまったパイプ



②軽トラなどに一回り太い鉄パイプを固定し、中に通しながら曲がった部分を直していきます。力はあまり必要ありません。



③手ごろな長さに切断し、切断口は危ないのでやすりなどで削ります。支柱に用いる場合は片側をハンマーで潰すと畑で刺さりやすくなります。



④見事に甦ったパイプ！  
野菜の支柱など様々な用途に使えます！

②のコツとしては、

- ・鉄パイプの角に曲がった部分を当てながらゆっくり曲げていくこと
- ・回しながら違和感があるところを直していくこと

です。慣れるまでに少し時間はかかるかもしれませんが、ぜひ皆さんもやってみてはいかがでしょうか？なお、写真のパイプはあさつゆでも販売しておりますので、お越しの際は見てみてください。